



自衛隊栃木地方協力本部

入隊1年後に母校を訪問

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原2陸尉）は、5月1日（月）に帰郷広報支援を実施した。今回、帰郷広報を実施したのは、令和4年3月に航空自衛隊 熊谷基地に自衛官候補生で入隊した石井 諒晴^{りやうはる}1等空士で、現在、那覇基地で勤務をしており、このたび春季休暇を利用し、母校である佐野清澄高校を訪問した。石井1士は1・2年生の時の担任と体育の先生方と面会し、「自衛隊に入隊してとても楽しく生活を送っており、自転車を買って色んなところに観光に行っています」と嬉しそうに話していた。

石井1士は、学校訪問後「成長した自分の姿を見てもらえた。先生たちに喜んでもらえてとても良かった」と話していた。

小山地域事務所は「今後も入隊後の隊員と連携を密にし、隊員、学校との信頼関係及び協力関係を強化し、募集基盤の拡充に邁進していく」としている。



母校訪問



先生方と面談

自衛官候補生、母校を訪問

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原2陸尉）は、5月1日（月）に帰郷広報支援を実施した。今回、帰郷広報を実施したのは、令和5年3月に陸上自衛隊宇都宮駐屯地に教育入隊した大久保 友樹^{おおくぼともき}候補生であり現在、自衛官候補生課程に教育入隊中であるが春季休暇に伴い、母校の小山北桜高校に母校訪問を実施した。大久保自候補生は教頭先生、学年主任、進路指導、学科の先生等と会い、訓練や自衛隊での生活などを話し「教育隊では時間がなくなるとても大変だ」と話しており、成長した大久保自候補生の姿を見た先生方はとても喜んでいました。

学校訪問後、大久保自候補生は「母校訪問ができてとても嬉しい」と嬉しそうに話していたのが印象的であった。

小山地域事務所は「今後も入隊後の隊員と連携を密にし、隊員、学校との信頼関係及び協力関係を強化し、募集基盤の拡充に邁進していく」としている。



母校訪問（大久保自候補生）



先生との面談